

台風6号に対する農作物の技術対策

平成27年5月12日
農業技術課
総合農業技術センター技術普及部
果樹試験場技術普及部

平成27年 台風第6号に関する山梨県気象情報 第2号（一部抜粋）

[台風の現況と予想]

台風第6号は、日本の南を北東へ進み、12日夜には温帯低気圧に変わる見込みです。温帯低気圧に変わった後も非常に強い風を伴ったまま、13日は関東甲信地方付近を通過する見込みです。また、日本海の低気圧からのびる前線に向かって、台風から暖かく湿った空気が流れ込み、12日夜のはじめ頃から、大気の状態が非常に不安定となるでしょう。

[雨の予想]

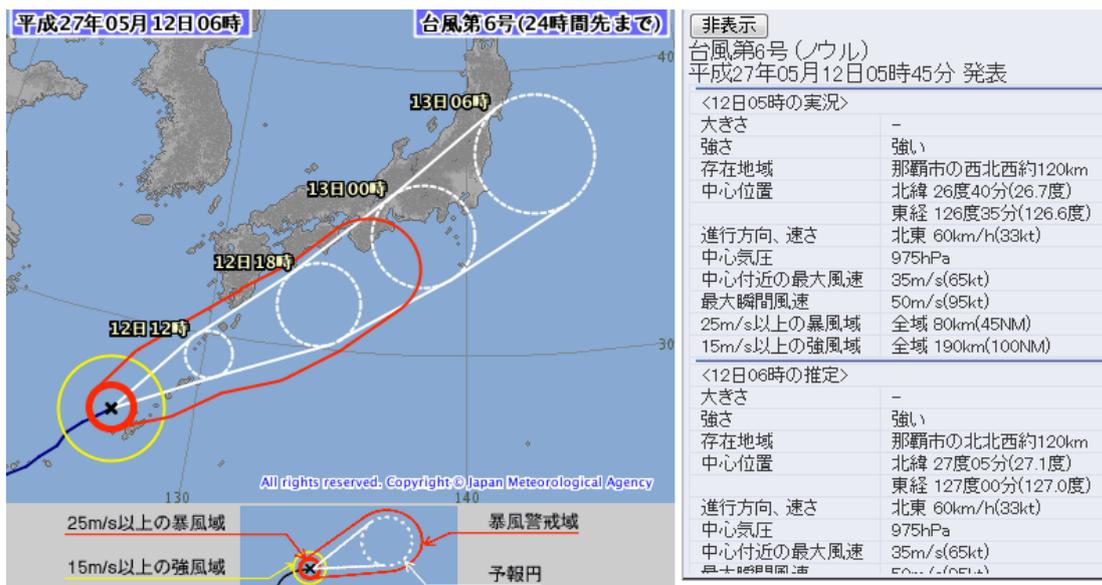
山梨県では、12日夜のはじめ頃から雷を伴って1時間に30ミリ以上の激しい雨の降る所があり、13日にかけて大雨となるおそれがあります。

13日6時までの24時間に予想される雨量は、いずれも多い所で、

○峡南地域、富士五湖 100ミリ ○その他の地域 70ミリ の見込みです。

[補足事項]

今後の台風情報や气象台の発表する警報や注意報、気象情報、竜巻注意情報に留意してください。次の「台風第6号に関する山梨県気象情報」は12日12時頃に発表する予定です。
(平成27年5月12日05時38分 甲府地方气象台発表)



○被害防止のため、以下の事前・事後対策の徹底をお願いします。

○今後の気象情報に十分注意するとともに、突風、降ひょうにも注意してください。

○共 通

「事前対策」

- ①ほ場周辺の排水路を点検、補修、整備するとともにゴミ等を取り除き、排水路からの逆流を防止する。また、ほ場内には、排水溝を設ける。
- ②風の強く当たる地域では、ほ場周辺に防風ネットを設置する。
- ③ハウスなどの支柱や基礎などを点検、補強するとともに、ビニールがまくられないようにマイカ線等を点検し、施設の被害防止に努める。
- ④強風による飛しょう物で、ハウスなどの施設が損傷を受けないように、周辺の清掃や防風ネットを設置する。

「事後対策」

- ①滞水しているほ場は、速やかに排水を行う。
- ②茎葉や果実の損傷により病害の発生が懸念されるため、指導機関の指示にしたがって薬剤を散布し、病害の発生を予防する。
- ③施設栽培では、棚やパイプハウス、ビニール、各種の装置、機械等を点検し、破損のある場合は速やかに修理する。

○果 樹 共通対策に加え、以下の対策を実施する。

「事前対策」

- ①オウトウは裂果を防ぐため、ほ場への浸水対策を徹底する。
- ②傾斜地等では、樹冠下の土壌流亡を防ぐため、敷ワラや敷草を行う。
- ③立木果樹は、倒伏や主幹部の損傷を防止するため、支柱等により固定する。帆柱の設置園では針金を点検・補修する。
- ④スモモ等では枝の揺れによる落果を防ぐため、風の当たりやすい枝を中心に支柱や誘引等により固定する。また、摘果作業は一時見送る。
- ⑤ブドウで新梢の誘引が済んでいない園では誘引を行うとともに、風の強い地域では、棚の周囲に防風網を設置する。

「事後対策」

- ①園地が滞水している場合は、速やかに排水対策を図る。また、傾斜地で根元の土壌が流亡している場合は、土寄せを実施する。
- ②ブドウは、枝や新梢の再誘引を行う。
- ③立木果樹では、葉ズレ果を中心に摘果を行うが、着果量が少ない場合は、腐敗につながらない果実は残しておく。
- ④ハウス栽培のブドウやオウトウで、裂果や果実腐敗病が発生している場合は速やかに除去する。

○野菜 共通対策に加え、以下の対策を実施する。

「事前対策」

- ①スイートコーン、ナス、トマト、キュウリは、倒伏を防ぐため支柱の補強、固定、誘引等を行う。

「事後対策」

- ①果菜類では、茎葉の損傷や泥のはね上がりにより、疫病、菌核病等の病害発生が懸念されるため、天候の回復を待って薬剤を散布して病害の発生を予防する。
- ②ナス、キュウリ、トマト等は、キズ果を早めに除去し、樹の負担の軽減を図る。倒伏したものは速やかに引き起こす。この際、根を切らないように注意する。
- ③スイートコーンは、無理に引き起こすと反対側の根を傷めるので、原則そのまま管理する。

○花き 共通対策に加え、以下の対策を実施する。

「事前対策」

- ①露地切り花は、冠水防止のため畝間に排水溝を設置する。
- ②鉢花の露地ベンチ栽培では、ベンチに固定できる鉢利用（C鋼鉢）や穴あきトレーを利用するなど日頃より台風等による倒伏防止に努める。

「事後対策」

- ①茎葉の損傷により、疫病、灰色かび病等の病害発生が懸念されるため、防除基準にしたがって予防散布を徹底する。

○水 稲

「事前対策」

- ①浸水・冠水害を防止するため、排水路の点検、補修、ゴミの除去を行う。
- ②事前に水口、排水口をふさぎ、水の流入を防ぐ。
- ③ほ場内で育苗している場合は、周囲に排水溝を設ける。

「事後対策」

- ①浸水や冠水した水田では、早急に排水に努め、新鮮な水を灌漑する。